

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.87

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

元売各社の決算公表等：論点色々

- しばらくぶりのSS経営メルマガを配信します。本業の繁忙期で、申し訳ありません。論点は一杯あります。問い合わせ等が多い項目は
 - (1) 出光と昭和シェルはどうなるの？(今週号の週刊ダイヤモンドを読んでください)
 - (2) JXはIFRS適用で、子会社販社や社有SSはどうなるの？
 - (3) コスモは、色々公表しているが、どういうこと？
 - (4) 原油は上昇してるのにTGは減益、昭和シェルは増益？どうして？
 盛り沢山の論点ですが、No.87では、(4)に焦点を当てたいと思います。
 - (1) ~ (3) + αは、No.88以降で記述します。(次号は(2)、(3)を中心に記述します)

TGは原油値上りで、唯一の減益修正：昭和シェルとTGの3月決算比較

- 色々な方からの問い合わせがあるのですが・・・

<TGの2014/12決算関係者のおさらい>

- ・ 経理担当執行役員の当然の辞任の公表：株主総会まで不在
- ・ 社外監査役の公認会計士が1年足らずで辞任：替りの公認会計士は社外取締役役に就任せず
- ・ 唯一の銀行OBの社外取締役役の退任
- ・ 実質的な財務担当取締役の不在

<原油値上りでも在庫評価損が、0億円 ⇒ 300億円へ増加>

TGの2月公表の業績予想と5月公表の減益修正を比較しましょう。

	2月公表	5月公表
12月末原油価格	\$52	-
想定原油価格	\$60	\$60
1-3月原油評価損益	ゼロ	△450億円
4-6月在庫評価損益	ゼロ	150億円
1-6月在庫評価損益	ゼロ	△300億円
1-6月経常利益	230億円	130億円
同上(在庫評価を除く)	230億円	430億円

- 結論 在庫評価込みだと減益修正
在庫評価別だと 増益修正
- 「想定原油価格は『ピタリ』と当てた」TGは、在庫評価損を300億円も低く見積もったのでしょうか？
- TGの公表資料によると原油\$10で300億円の評価損益が出るそうです。ということは、
 - ・ 本当は「原油を\$70と想定していたのに\$60」と公表した。
 - ・ 評価損が450億円出るとわかっていただけ公表しなかった。このいずれかです。
- 業績予想は形式的には「公認会計士の監査対象外」です。原油価格は上昇 = 在庫評価損は「減少」のはずです。
- 今、東芝が500億円の不適切会計 = 粉飾決算で、糾弾されています。今後の展開は要注意です。

<同じ12月決算の昭和シェルとの比較>

	昭和シェル	TG
前期末原油	\$52	\$52
想定原油価格	\$53 ⇒ \$59へ変更	\$60 (そのまま)
1-6月評価損(2月公表)	△450億円	ゼロ
1-6月評価損(5月公表)	△270億円	△300億円
評価損の増減	+180億円	△300億円
評価損込みの経常利益	増益	減益
評価損を除く経常利益	増益	増益

- 昭和シェルは「増益修正」
TGは「減益修正」と全く逆です。
- 昭和シェルの決算予想等は、非常に理解できます。
- TGは不可解です。再度、記述します。
 - ・ 本当は、「原油を\$70想定していたのに\$60」と公表した。
 - ・ 評価損が1-3月で450億円出るとわかっていただけ公表しなかった。このいずれかだと推測します。